

## 別記様式

## 議 事 録

|                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称             | 令和7年度第1回岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 開催日時              | 令和7年6月30日（月）午後2時00分から午後3時20分まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 開催場所              | 生涯学習センター 研修室1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 出席者<br>（欠席委員・説明者） | <p>汲田委員長、嶋副委員長、丹羽委員、萩岡委員、岩井委員、松本委員、伊藤委員、石黒委員(老人クラブ)、柴田委員、宮田委員、小林委員、塚本委員、石黒委員(市民委員)</p> <p>欠席委員：浅田委員</p> <p>説明者：佐野福祉部長、浅田長寿介護課長、新中須主幹、石井統括主査、田中主任、大藪主事、健康課健康支援グループ河邊主査保健師、岩倉市地域包括支援センター森氏</p>                                                                                                                                               |
| 会議の議題             | <p>(1) 介護保険事業及び高齢者保健福祉事業の実施状況について</p> <p>(2) 地域包括支援センターの事業報告について</p> <p>(3) 地域密着型サービス事業の運営状況について</p> <p>(4) 在宅介護実態調査について</p> <p>(5) その他</p>                                                                                                                                                                                                |
| 議事録の作成方法          | <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他                                                                                                                                                                                                                                        |
| 記載内容の確認方法         | <input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている<br><input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている<br><input type="checkbox"/> その他（ ）                                                                                                                                                                                                         |
| 会議に提出された資料の名称     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業実績報告について（資料1－1①）</li> <li>・年度別介護給付費等支払状況（資料1－1②）</li> <li>・高齢者福祉事業について（資料1－2）</li> <li>・高齢者保健福祉計画等推進委員会（資料）保健事業（資料1－3）</li> <li>・令和6年度岩倉市地域包括支援センター・岩倉東部地域包括支援センター活動報告書（資料2）</li> <li>・地域密着型サービス事業の運営状況について（資料3）</li> <li>・在宅介護実態調査 調査票（資料4－1）</li> <li>・在宅介護実態調査実施のための手引き（資料4－2）</li> </ul> |
| 公開・非公開の別          | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 傍聴者数              | 0人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| その他の事項            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

2 議事

事務局からの説明をもとに委員長が進行

議題（１）介護保険事業及び高齢者保健福祉事業の実施状況について

資料 1-1①、1-1②に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありましたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員：全体の高齢化率がやや下がっているということは、意外と若い人が少なくならず済んだということですか。

事務局：全体の人数として、それほど下がってないということとも言えるとは思いますが、それ以上に前期高齢者数が減っているというのが、高齢化率全体としては下がってきている要因かと思います。計画と比べてみますと全体人口は、計画より少ないですが、高齢者人口も計画よりも少なくなっております。それに対して後期高齢者率は計画よりも大きくなっている、つまり前期高齢者数が想定よりも少なくなっているのが要因かと思います。

委員：前期高齢者数が少ないということは、若い人達がそんなに変わらず、10 年後とかはもう少し良い未来が描けるということになりますか。

事務局：10 年後は、今の前期高齢者が後期高齢者になる数が、想定より少なくなっているという意味では、良い未来なのかもしれないですが、2040 年問題と言われていいますように、団塊ジュニア世代が高齢者になってきますので、高齢化率としては、また上がってくることもあるかと思います。

委員長：後期高齢者の方が、たくさんになることは、決して悪いことではありません。元気な高齢者がたくさん生き活きしていただくことは良いことです。ただし、前期高齢者数が減って、現役世代の人数もそのままだったら、給付費とか介護保険料がもう少し安くなるかもしれないという話かと思います。

資料 1-2 に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありましたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員：1 の（３）の高齢者老人日常生活用具給付のところで、令和５年度、６年度ともに０人で、４年度も調べたら０人でしたので、需要が少しいのかと思い、他の市を確認したところ、対象としている電磁調理器以外に自動消火器を対象にしていたり、火災警報器を対象にしている市がありましたが、そのような検討はされているのでしょうか。

事務局：近隣市町では、電磁調理器以外も対象とするとあり、日常生活用具給付事業というこ  
ともありますので、今、電磁調理器の実績はないですが、他市町を参考にしながら検  
討していきたいと考えています。

参考ですが、今年度は今のところ 1 件の実績があります。

委 員：（１）の高齢者の「食」に関するサービスの実績では、人数が令和 5 年度 204 人、令  
和 6 年度 203 人ですが、予算で上限が決まっていますか。利用したい方はたくさんい  
ると思いますけれど。

事務局：上限はありません。新規の利用者が令和 6 年度中には 67 名おりますが、施設に入所  
される方々など、いろいろな要件が合わさって、年間を通して利用された方が令和 5  
年度は 204 人、令和 6 年度が 203 人ということです。

委員長：年度途中まで利用の方も含めた延べ人数ということでよろしいでしょうか。

事務局：その通りです。

委 員：その他の取組の高齢者の実態把握事業は、とても大変な事業で、こつこつと取り組ん  
でくださってありがたいと思います。

320 件の方にいろいろお話を聞いたということですが、その 320 件の方が、高齢者福  
祉サービスに繋がったり、介護認定の方に繋がった案件はありますか。

事務局：地域包括支援センターの実績報告書から申し上げますと、対象の方々それぞれをまず  
区分分けしております。320 件のほとんどが、社会参加が難しい方々に対して、民生  
委員さんが地域でのサロン活動への参加を積極的に呼び掛ける。例えば高齢者世帯  
を訪問しても、外に出歩いてない人が多いです。そういった方々が元気な高齢者のま  
までいていただく為に、サロンのご案内などをさせていただいている。また、夫婦お  
2 人ともとてもお元気な方々には、地域での相談窓口である民生委員の存在を伝え、  
何かあれば相談に繋がるよう支援するという事でお声掛けしています。ただ、中に  
は、介護保険の申請が必要な方々もみえたので、そのような方々には、介護保険の申  
請に繋ぐようにしているところです。

委 員：対象が 75 歳以上 80 歳以下となっていますが、80 歳以上の方でも必要性があるの  
ではないかと思いますが。

事務局：令和 6 年度はどのような方々を対象にするか地域包括支援センターとも協議をして、  
75 歳以上 80 歳以下の高齢者世帯としています。次の年度はどういった対象者にする  
のか、地域包括支援センターと検討していきます。

委 員：年度によって考えていただけるのですね。

委 員：対象者が高齢者夫婦のみとなっておりますが、支援を受けていない単身者はどこで情  
報を得れるのか漏れがないのか気になります。身近にもそのような方もみえるので  
どうなのかと思います。

事務局：ひとり暮らし認定を受けている方は、民生委員さんが定期的に訪問されているので問  
題ないですが、ひとり暮らし認定を受けていない方、まだ何の支援も受けていない方  
のことかと思います。そういった方々についても、地域包括支援センターの職員等  
が、この実態把握事業の中に近隣の方からの情報提供、相談があれば、その都度ひと  
り暮らし認定の未認定者であっても、訪問しています。これも実態把握の 1 つであ

ると考えておりますので、そのような対応をしております。

委員：8050 問題があると思いますが、お父さんが 90 歳でお母さんが 85 歳くらいで、50 歳過ぎた娘さんがずっと引き籠っていたりすると、こういった対象にはならないでしょうか、3 人暮らしなので。

事務局：親世代と子世代、お子さんがずっと家にいて、親世代の方にちゃんとした支援ができていないというのは、相談を受けたりしますので、知人の方や近隣の方からの情報提供、相談があれば、こういったキッカケで関わっていくのかという問題がありますが、対応はさせていただきたいと思いますので、声を掛けてください。

委員長：今のお話ですが、引き籠っていることが悪いことだという印象を与えると、すごく世の中的にはマイナスで、「あなたのお家は、世間的・社会的には良くないお家です」ということです。何となく暮らしていたら他者から通報される。そういった状況にあるということを端から見て、高齢夫婦と単身の子どもが引き籠っているから 8050 問題となっていますが、それは大体は問題が起きてから明るみに出るわけです。その前に何とか…というお気持ちはものすごくよくわかるのですが、介入するとすごく難しい。近隣の方の見守りで異変を感じたらすぐに介入できるようにするというのが、1 番の手立てで、どういう暮らし方をするかとか、どう生きていくのかというのを普遍性を過度に求めてしまうと、それから外れると「あなたのお家は普通に生きていない家ですよ」と言われてしまうことになるというのは非常に危ないと思っています。なぜかと申しますと、「見守られない自由はないのか」と、私が言われたことがあるのです。福祉とか介護とか保険医療に関わっていると、何となく前向きに前向きにと、転ばないようにと言いますか、何か事件が起きないように、マズイことにならないようにと思うのですが、当事者からすると「ほっといてくれ」ということがあるかもしれないという加減が難しいかと思っています。

#### 資料 1-3 に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありました、ご質問等ありますでしょうか。

委員：介護予防やフレイル予防等いろいろあり、線引きはもちろん難しいのですが、そういったものに行きたくても行けない人が参加できるようなお迎えとか出来れば良いと思っていて、お声がけはして、いろんな場面でいろんなことやっているけど、行きたいけど行けないという人が参加できる手立てはないかともいつも思っております。

#### 議題（２）地域包括支援センターの事業報告について

##### 資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありましたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員：5 ページのキのところで、医療等に繋がった人数は 0 人ということですが、この 0 人は、全員が問題なかったという意味なのか、医療に繋げるべき人もいるけど、拒否さ

れたりして、問題ある方がいたのかどうですか。

事務局：ご家庭で過ごしている方で、歩くのが少し困難になってきている方がいらっしゃったりすると、病院に行った方が良いというお話はしますが、その後どこかの医療機関にかかったという方は、昨年度はいなかったです。ただし、介護サービスの利用希望があり、地域包括支援センターで支援した方はいました。

委員長：4ページのウ介護予防啓発事業の開催の表の中の、下支会ふれあい昼食会は1回で90人ということで良いでしょうか。

事務局：昼食会に90人という大勢の方が参加されていて、そこでお話をしたということです。

### 議題（3）地域密着型サービス事業の運営状況について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありましたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員：地域密着型サービス事業所に対して、評価を受けてしっかり実施しているのはわかりますが、外部評価についての結果はどうでしょうか。問題がないことを確認できているのか、不十分な点があったのか等わかれば教えてほしいです。

事務局：認知症対応型共同生活介護の関しては、県が指定した評価機関が評価を行なっております。そちらの方は、インターネットで結果が確認できます。全体をお話するのは難しいですが、低い評価が付いているものはないです。

小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、運営推進会議の中で評価を行なっております。区長さんや民生委員の方、地域包括支援センターの職員や市の職員等が入って、評価を行います。会議の中で評価しますが、運営推進会議の中で取り扱わなかった項目についてはわからないという評価が出ることもあります。

委員：特に問題はないということでよろしいでしょうか。

事務局：特に問題のある事業所はございません。

### 議題（4）在宅介護実態調査について

資料に基づいて事務局より説明

委員長：事務局より説明がありましたが、ご質問等ありますでしょうか。

委員：回答率はどのくらいが想定されますか。

事務局：調査員の聞き取りの方で言いますと、前回は対象者が427人で、A票の回収率は360人でしたので、84.3%。B票の方は、ご家族がいらっしゃらないこともありますので、427人に対して、269人でしたので、回収率は63.0%です。今お答えしたのが手法Ⅰについてです。手法Ⅱは、郵送でのアンケート調査で、第9期計画にも記載がありますが、有効回答率は、要支援で60.5%、要介護で46.1%となっております。

委 員：認定調査員はどんな方でしょうか。市の職員ですか。

事務局：調査員は、基本的には市の職員ですが、一部、市外の方など、市の職員で行くのが難しい場合は、近くの自治体や事業所に委託することもあります。

#### 議題（５）その他

今年度の今後の予定について連絡

事務局：今年度は３回の開催を予定しています。次回は１０月の予定です。委員長と日程を調整し、改めて通知します。